

のり養殖通報第5報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成30年11月22日発行

[気象・海況] 栄養塩はやや減少

- 気温は10月以降一時期を除いて平年より高めで経過している。特に10月下旬～11月上旬は非常に高め傾向が続いた。気象予報では今週末は一旦気温が低下するが、次週の気温は平年より高めで経過すると予想されている。
- 11月19～21日の観測では、全域で植物プランクトン（優占種は小型の珪藻）が増加し透明度がやや低下。その影響でのり養殖漁場近辺の栄養塩は窒素、リンともに減少。特に大貫ベタ付近では色調低下が心配されるレベルまで低下している。表層水温は17～19℃台、内湾の塩分は29～31台であった（表1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は10月末以降降下が鈍り現在は昨年より1～2℃高い19℃前後で推移している。

[今後の留意点] 良い場所を有効に

- 盤洲以南では栄養塩がやや減少しましたが、調査後の22日にまとまった降雨があり回復が期待できます。
- 各地区で徐々に収穫が始まっていますが、場所によってはのり芽の短縮化が続いています。当面は急激な海況好転は望めませんが良い場所を有効に活用し、可能な限り食害防止などの対策を施しながら状況好転を待ってください。
- 東京湾漁業研究所でも生産者の方々と連携して実態把握と原因解明に向けた取り組みを続けていきます。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
次回は12月4日頃発行します。

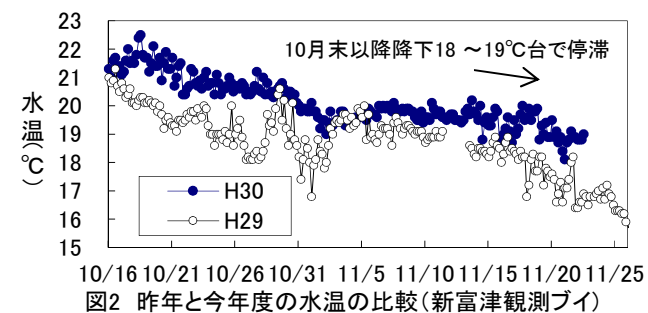
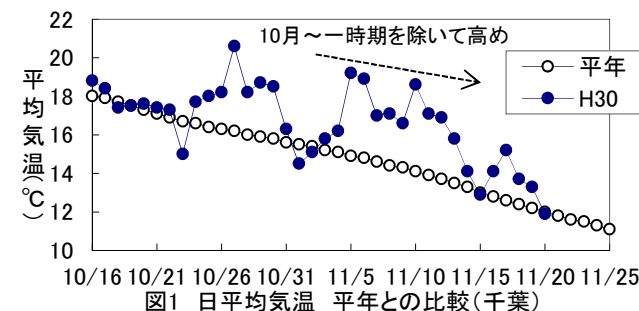


表1 水質観測結果(内湾 11/19, 内房 11/21)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	17.6	30.5	8.3	2.5	248	21
盤洲Cブイ	19.1	31.2	8.3	2.3	214	18
盤洲Bブイ	18.3	31.1	8.4	2.5	146	10
盤洲Aブイ	18.1	30.5	8.5	2.0	234	5
富津ベタ	18.3	29.8	8.3	2.3	218	9
2海ほ下	18.1		8.3	3.3	173	9
1海ほ下	18.3		8.4	3.5	132	6
下洲ベタ	18.6		8.4	3.7	110	6
大貫ベタ	18.2		8.4	4.2	29	0

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調ののりの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

のりの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5